

中野 寛之 議員
(一問一答方式)



- ①国道378号の改良について
- ②ふるさと住民登録制度について
- ③駐車場不足問題について
- ④子育て支援サブサイト「るるる」について
- ⑤学校体育館の空調整備について

国道378号の第二国土軸としての重要性について

問 長浜港内港埋立事業に合わせて実施される国道378号の道路改良事業は、特に緊急性と重要性の高い事業であると考えているが、市長の見解を伺いたい。

答 本市の海岸線を通る国道378号は、四国を経由して本州と九州を結ぶ第二国土軸を補完する重要なルートであり、また伊方原発の避難路としても重要な位置づけとなっています。

現在、松山自動車道の4車線化や大洲・八幡浜自動車道の整備が重点的に推進されており、第二国土軸の要衝として本市にも大きな波及効果がもたらされるものと期待しています。

国道378号は九州と松山圏域の産業集積地を結ぶ一般道最短路線ですが、長浜の市街地にある2か所の直角カーブは、大型車が通ると対向車は離合ができず、物流の円滑化や交通の安全安心の面からも早期改善の必要性を強く感じています。

また、伊予市三秋地区では国道378号バイパス整備も進んでおり、これにより、ますます利用しやすい道路として交通量の増加が期待されるものと推察しています。

こうした交通量の増加により、国道378号の瀬戸内海の四季折々の風光明媚な風景も楽しんでいただきながら、埋立地に整備を予定している道の駅をはじめ、地域の観光資源や商業施設の利用促進にも波及し、交流人口の拡大にもつながるものと期待しています。

子育て支援サブサイト「るるる」について

問 これまでのアクセス数や検索の実態、導入したことによる効果を理事者はどのように評価しているのか。

答 本サイトは、妊産婦や乳児から高校生相当の年齢までの子供及びその家族に対する各種行政サービスに関する情報を集約することで、市民の皆様により簡単、手軽に必要な情報を取得していただくことを目的に、本市の公式ホームページのサブサイトとして構築し、令和6年2月から公開しています。

公開後、今年10月末までの約1年8か月の間のアクセスは約4万3,000件、ページ閲覧数は約19万となっており、月平均2,150件のアクセスと9,500のページ閲覧数となっています。

このうち、児童館、児童センター情報や子育て支援施策などのページ閲覧が特に多くなっており、市民からもデザインがかわいく親しみやすい、情報が整備されて便利になったなど、好評の声が多く寄せられています。

学校体育館空調整備の今後の実施計画について

問 学校体育館の空調整備は、令和8年度から令和15年度までの8年間で計画的に施設整備を進めていくとの説明があったが、具体的な実施校など、現在決まっていることがあれば伺いたい。

答 学校体育館の空調設備については、近年の気候変動の影響による平均気温の上昇や災害の激甚化、頻発化を踏まえ、児童生徒の熱中症を予防とともに、避難所としての防災機能を強化するため、国の空調設備整備臨時特例交付金を活用し、市内小中学校の体育館に空調設備を整備するものです。

今後、高い確率で発生が予想されている南海トラフ地震対策も想定し、各地域の避難所の状況や想定される避難者数を考慮のうえ、大洲南中学校と大洲北中学校を第1期として、設計業務を令和8年度に、本工事を令和9年度に実施する予定としています。第2期以降の計画については、現時点では決定していませんが、当該地域の避難所の状況や学校規模などを総合的に検討し、順次進めていく予定です。